

せたな町
一般会計等

普通会計貸借対照表

(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 【資産の部】 | — | 【負債の部】 | — |
| 固定資産 | 38,163,453,378 | 固定負債 | 9,633,065,133 |
| 有形固定資産 | 33,383,254,823 | 地方債等 | 7,992,294,800 |
| 事業用資産 | 17,399,088,597 | 長期未払金 | — |
| 土地 | 2,934,490,799 | 退職手当引当金 | 1,622,531,000 |
| 立木竹 | 2,650,621,939 | 損失補償等引当金 | — |
| 建物 | 32,002,327,242 | その他 | 18,239,333 |
| 建物減価償却累計額 | △20,318,270,842 | 流動負債 | 1,344,588,266 |
| 工作物 | 155,209,328 | 1年内償還予定地方債等 | 1,230,532,636 |
| 工作物減価償却累計額 | △25,289,871 | 未払金 | — |
| 船舶 | 3,434,150 | 未払費用 | — |
| 船舶減価償却累計額 | △3,434,148 | 前受金 | — |
| 浮標等 | — | 前受収益 | — |
| 浮標等減価償却累計額 | — | 賞与等引当金 | 80,620,718 |
| 航空機 | — | 預り金 | 33,434,912 |
| 航空機減価償却累計額 | — | その他 | — |
| その他 | — | 負債合計 | 10,977,653,399 |
| その他減価償却累計額 | — | 【純資産の部】 | — |
| 建設仮勘定 | — | 固定資産等形成分 | 41,292,471,195 |
| インフラ資産 | 15,812,386,690 | 余剰分(不足分) | △11,535,189,845 |
| 土地 | 18,437,637 | | |
| 建物 | 34,505,000 | | |
| 建物減価償却累計額 | △34,504,999 | | |
| 工作物 | 41,567,626,109 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △25,773,677,057 | | |
| その他 | — | | |
| その他減価償却累計額 | — | | |
| 建設仮勘定 | — | | |
| 物品 | 815,552,841 | | |
| 物品減価償却累計額 | △643,773,305 | | |
| 無形固定資産 | 38,789,480 | | |
| ソフトウェア | 36,975,181 | | |
| その他 | 1,814,299 | | |
| 投資その他の資産 | 4,741,409,075 | | |
| 投資及び出資金 | 713,510,080 | | |
| 有価証券 | 51,989,000 | | |
| 出資金 | 95,128,000 | | |
| その他 | 566,393,080 | | |
| 投資損失引当金 | — | | |
| 長期延滞債権 | 43,560,578 | | |
| 長期貸付金 | — | | |
| 基金 | 3,686,041,120 | | |
| 減債基金 | 200,208,270 | | |

せたな町
一般会計等

普通会計貸借対照表

(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| その他 | 3,485,832,850 | | |
| その他 | 300,000,000 | | |
| 徴収不能引当金 | △1,702,703 | | |
| 流動資産 | 2,571,481,371 | | |
| 現金預金 | 344,235,763 | | |
| 未収金 | 10,472,730 | | |
| 短期貸付金 | — | | |
| 基金 | 1,948,492,499 | | |
| 財政調整基金 | 1,948,492,499 | | |
| 減債基金 | — | | |
| 棚卸資産 | 31,032,431 | | |
| その他 | 237,274,561 | | |
| 徴収不能引当金 | △26,613 | 純資産合計 | 29,757,281,350 |
| 資産合計 | 40,734,934,749 | 負債及び純資産合計 | 40,734,934,749 |

せたな町
一般会計等

普通会計行政コスト計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|---------------|
| 経常費用 | 9,594,598,669 |
| 業務費用 | 5,993,979,842 |
| 人件費 | 1,192,363,248 |
| 職員給与費 | 1,037,935,080 |
| 賞与等引当金繰入額 | 80,620,718 |
| 退職手当引当金繰入額 | — |
| その他 | 73,807,450 |
| 物件費等 | 4,693,071,766 |
| 物件費 | 1,839,648,705 |
| 維持補修費 | 1,295,881,543 |
| 減価償却費 | 1,554,446,418 |
| その他 | 3,095,100 |
| その他の業務費用 | 108,544,828 |
| 支払利息 | 84,715,314 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 1,729,316 |
| その他 | 22,100,198 |
| 移転費用 | 3,600,618,827 |
| 補助金等 | 1,704,136,337 |
| 社会保障給付 | 606,962,274 |
| 他会計への繰出金 | 1,287,417,859 |
| その他 | 2,102,357 |
| 経常収益 | 395,139,251 |
| 使用料及び手数料 | 180,310,146 |
| その他 | 214,829,105 |
| 純経常行政コスト | 9,199,459,418 |
| 臨時損失 | 33,314,139 |
| 災害復旧事業費 | — |
| 資産除売却損 | 33,314,139 |
| 投資損失引当金繰入額 | — |
| 損失補償等引当金繰入額 | — |
| その他 | — |
| 臨時利益 | 20,046,204 |
| 資産売却益 | 20,046,204 |
| その他 | — |
| 純行政コスト | 9,212,727,353 |

せたな町
一般会計等

普通会計純資産変動計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 合計 | 固定資産等形成分 | |
|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| | | 固定資産等形成分 | 余剰分（不足分） |
| 前年度末純資産残高 | 30,702,640,081 | 40,433,640,859 | △9,731,000,778 |
| 純行政コスト（△） | △9,212,727,353 | | △9,212,727,353 |
| 財源 | 8,266,888,622 | | 8,266,888,622 |
| 税収等 | 6,910,924,645 | | 6,910,924,645 |
| 国県等補助金 | 1,355,963,977 | | 1,355,963,977 |
| 本年度差額 | △945,838,731 | | △945,838,731 |
| 固定資産等の変動（内部変動） | | 858,350,336 | △858,350,336 |
| 有形固定資産等の増加 | | 785,670,922 | △785,670,922 |
| 有形固定資産等の減少 | | △158,776,055 | 158,776,055 |
| 貸付金・基金等の増加 | | 328,334,106 | △328,334,106 |
| 貸付金・基金等の減少 | | △96,878,637 | 96,878,637 |
| 資産評価差額 | — | — | — |
| 無償所管換等 | 480,000 | 480,000 | — |
| その他 | — | — | — |
| 本年度純資産変動額 | △945,358,731 | 858,830,336 | △1,804,189,067 |
| 本年度末純資産残高 | 29,757,281,350 | 41,292,471,195 | △11,535,189,845 |

せたな町
一般会計等

普通会計資金収支計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|------------|----------------|
| 【業務活動収支】 | — |
| 業務支出 | 8,038,159,867 |
| 業務費用支出 | 4,437,541,040 |
| 人件費支出 | 1,192,121,292 |
| 物件費等支出 | 3,149,746,645 |
| 支払利息支出 | 84,715,314 |
| その他の支出 | 10,957,789 |
| 移転費用支出 | 3,600,618,827 |
| 補助金等支出 | 1,704,136,337 |
| 社会保障給付支出 | 606,962,274 |
| 他会計への繰出支出 | 1,287,417,859 |
| その他の支出 | 2,102,357 |
| 業務収入 | 8,590,068,037 |
| 税収等収入 | 6,913,994,031 |
| 国県等補助金収入 | 1,355,963,977 |
| 使用料及び手数料収入 | 180,337,276 |
| その他の収入 | 139,772,753 |
| 臨時支出 | — |
| 災害復旧事業費支出 | — |
| その他の支出 | — |
| 臨時収入 | — |
| 業務活動収支 | 551,908,170 |
| 【投資活動収支】 | — |
| 投資活動支出 | 1,365,525,112 |
| 公共施設等整備費支出 | 785,670,922 |
| 基金積立金支出 | 555,079,190 |
| 投資及び出資金支出 | 24,262,000 |
| 貸付金支出 | 513,000 |
| その他の支出 | — |
| 投資活動収入 | 118,002,843 |
| 国県等補助金収入 | — |
| 基金取崩収入 | 96,878,637 |
| 貸付金元金回収収入 | 1,078,000 |
| 資産売却収入 | 20,046,206 |
| その他の収入 | — |
| 投資活動収支 | △1,247,522,269 |
| 【財務活動収支】 | — |
| 財務活動支出 | 1,255,410,569 |
| 地方債等償還支出 | 1,255,410,569 |
| その他の支出 | — |
| 財務活動収入 | 1,675,800,000 |
| 地方債等発行収入 | 1,675,800,000 |
| その他の収入 | — |
| 財務活動収支 | 420,389,431 |

せたな町
一般会計等

普通会計資金収支計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|--------------|
| 本年度資金収支額 | △275,224,668 |
| 前年度末資金残高 | 567,786,186 |
| 本年度末資金残高 | 292,561,518 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 37,134,480 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 14,539,765 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 51,674,245 |
| 本年度末現金預金残高 | 344,235,763 |

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のないもの……………取得原価

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建 物 15 年～50 年

工作物 10 年～50 年

物 品 3 年～17 年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5 年）に基づく定額法によっています。）

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。長期延滞債権については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちせたな町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みません。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円（美術品は 300 万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても、物品の取扱いに準じます。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として、法人税法基本通達第 7 章第 8 節によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計方針の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対する保証等はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものはありません。

5 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

- ② 地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。
- ③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。
- ④ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

| | |
|----------|------|
| 実質赤字比率 | — |
| 連結実質赤字比率 | — |
| 実質公債費比率 | 7.8% |
| 将来負担比率 | — |

- ⑤ 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額 27,648 千円
- ⑥ 繰越事業に係る将来の支出予定額 78,272 千円

(2) 貸借対照表に係る事項

- ① 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

売却可能資産の範囲は、以下に該当するもののうち、せたな町が特定するものとする。

- ・ 現に公用もしくは公共用に供されていない公用財産（一時的に賃貸しているもの含む）
- ・ 売却が既に決定している、または、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内訳

該当する資産はありません

- ② 減債基金に係る積立不足額 なし
- ③ 基金借入金（繰替運用） なし
- ④ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額 9,295,683 千円
- ⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

| | |
|---------------------------|---------------|
| 標準財政規模 | 5,948,687 千円 |
| 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 | 1,158,464 千円 |
| 将来負担額 | 13,677,873 千円 |
| 充当可能基金額 | 3,963,679 千円 |
| 特定財源見込額 | 621,528 千円 |
| 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 | 9,507,218 千円 |

- ⑥ 管理者と所有者が異なる指定区間外の国道や指定区間の一級河川等及び表示登記が行われていない法定外公共物は次のとおりです。なお、当該資産は貸借対照表の資産に計上されません。

国有港湾施設

| | |
|-----|------------------------------------|
| 土地 | 2,090 千円 |
| 工作物 | 7,637,625 千円（減価償却累計額 3,931,198 千円） |

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

- ① 基礎的財政収支 $\Delta 362,599$ 千円

② 既存の決算情報との関連性

| | 収入（歳入） | 支出（歳出） |
|-------------------------|---------------|---------------|
| 歳入歳出決算書（歳入の内、繰越金を除く） | 10,383,897 千円 | 10,410,822 千円 |
| 財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額 | - 千円 | - 千円 |
| 資金収支計算書 | 10,383,897 千円 | 10,410,822 千円 |

③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

| | |
|-----------------------|---------------------------------------|
| 業務活動収支 | 551,748 千円 |
| 投資活動収入の国県等の補助金収入 | 96,879 千円 |
| 未収債権、未払債務等の増加（減少） | $\Delta 98,192$ 千円 |
| その他流動資産の増減 | 825 千円 |
| 減価償却費 | $\Delta 1,554,446$ 千円 |
| 投資損失引当金の増減 | - 千円 |
| 賞与等引当金の増減 | $\Delta 242$ 千円 |
| 退職手当引当金の増減 | 70,616 千円 |
| 徴収不能引当金の増減 | 82 千円 |
| 資産除売却損 | $\Delta 13,268$ 千円 |
| <u>純資産変動計算書の本年度差額</u> | <u>$\Delta 945,998$ 千円</u> |

④ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の該当事項はありません。

- ⑤ 重要な非資金取引
該当する取引はありません。

以上

一般会計等

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

(単位：円)

| 区分 | 前年度末残高 (A) | 本年度増加額 (B) | 本年度減少額 (C) | 本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D) | 本年度末 減価償却累計額 (E) | 本年度償却額 (F) | 差引本年度末残高 (D) - (E) (G) |
|--------|----------------|---------------|---------------|----------------------------------|------------------------|---------------|------------------------------|
| 事業用資産 | 37,308,573,133 | 772,210,206 | 303,667,450 | 37,777,115,889 | 20,346,994,861 | 645,688,844 | 17,430,121,028 |
| 土地 | 2,965,523,230 | 0 | 0 | 2,965,523,230 | 0 | 0 | 2,965,523,230 |
| 立木竹 | 2,650,621,939 | 0 | 0 | 2,650,621,939 | 0 | 0 | 2,650,621,939 |
| 建物 | 31,617,494,692 | 688,500,000 | 303,667,450 | 32,002,327,242 | 20,318,270,842 | 641,611,077 | 11,684,056,400 |
| 工作物 | 71,499,122 | 83,710,206 | 0 | 155,209,328 | 25,289,871 | 4,077,767 | 129,919,457 |
| 船舶 | 3,434,150 | 0 | 0 | 3,434,150 | 3,434,148 | 0 | 2 |
| インフラ資産 | 41,620,568,746 | 0 | 0 | 41,620,568,746 | 25,808,182,056 | 840,381,563 | 15,812,386,690 |
| 土地 | 18,437,637 | 0 | 0 | 18,437,637 | 0 | 0 | 18,437,637 |
| 建物 | 34,505,000 | 0 | 0 | 34,505,000 | 34,504,999 | 0 | 1 |
| 工作物 | 41,567,626,109 | 0 | 0 | 41,567,626,109 | 25,773,677,057 | 840,381,563 | 15,793,949,052 |
| 物品 | 807,955,846 | 14,060,716 | 6,463,721 | 815,552,841 | 643,773,305 | 56,884,081 | 171,779,536 |
| 物品 | 807,955,846 | 14,060,716 | 6,463,721 | 815,552,841 | 643,773,305 | 56,884,081 | 171,779,536 |
| 合計 | 79,737,097,725 | 786,270,922 | 310,131,171 | 80,213,237,476 | 46,798,950,222 | 1,542,954,488 | 33,414,287,254 |

一般会計等

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位：円)

| 区分 | 生活インフラ・ 国土保全 | 教育 | 福祉 | 環境衛生 | 産業振興 | 消防・警察 | 総務 | 合計 |
|--------|-----------------|---------------|-------------|-------------|---------------|-------------|---------------|----------------|
| 事業用資産 | 3,104,757,442 | 3,309,622,191 | 969,446,991 | 194,955,288 | 4,809,384,522 | 233,185,891 | 4,808,768,703 | 17,430,121,028 |
| 土地 | 228,379,300 | 527,319,376 | 108,368,901 | 12,513,045 | 285,456,263 | 34,105,229 | 1,769,381,116 | 2,965,523,230 |
| 立木竹 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,650,621,939 | 0 | 0 | 2,650,621,939 |
| 建物 | 2,874,679,043 | 2,782,140,859 | 859,447,872 | 182,442,240 | 1,866,177,890 | 199,080,657 | 2,920,087,839 | 11,684,056,400 |
| 工作物 | 1,699,099 | 161,955 | 1,630,218 | 3 | 7,128,429 | 5 | 119,299,748 | 129,919,457 |
| 船舶 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| インフラ資産 | 15,733,402,005 | 0 | 0 | 0 | 78,888,747 | 0 | 95,938 | 15,812,386,690 |
| 土地 | 18,341,690 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 95,938 | 18,437,637 |
| 建物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 工作物 | 15,715,060,314 | 0 | 0 | 0 | 78,888,738 | 0 | 0 | 15,793,949,052 |
| 物品 | 19,311,408 | 19,500,794 | 5,641,850 | 3,152,114 | 16,943,441 | 0 | 107,229,929 | 171,779,536 |
| 物品 | 19,311,408 | 19,500,794 | 5,641,850 | 3,152,114 | 16,943,441 | 0 | 107,229,929 | 171,779,536 |
| 合計 | 18,857,470,855 | 3,329,122,985 | 975,088,841 | 198,107,402 | 4,905,216,710 | 233,185,891 | 4,916,094,570 | 33,414,287,254 |

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位：円)

| 会計 | 区分 | 財源の内容 | | 金額 | |
|-------|--------|-------------|----|---------------|---------------|
| 一般会計等 | 税収等 | | | 6,910,924,645 | |
| | | 小計 | | 6,910,924,645 | |
| | 国県等補助金 | 資本的□ 補助金 | | | 1,355,963,977 |
| | | | 小計 | | 1,355,963,977 |
| | | 経常的□ 補助金 | | | 0 |
| | | | 小計 | | 0 |
| | 小計 | | | | 1,355,963,977 |
| 合計 | | | | | 8,266,888,622 |

一般会計等

(2) 財源情報の明細

(単位：円)

| 区分 | 金額 | 内訳 | | | |
|------------|----------------|----------------|-----|-----|-----|
| | | 国県等補助金 | 地方債 | 税収等 | その他 |
| 純行政コスト | △9,212,727,353 | △9,212,727,353 | 0 | 0 | 0 |
| 有形固定資産等の増加 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貸付金・基金等の増加 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | △9,212,727,353 | △9,212,727,353 | 0 | 0 | 0 |

せたな町
全体

単体貸借対照表
(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 【資産の部】 | — | 【負債の部】 | — |
| 固定資産 | 45,552,527,160 | 固定負債 | 11,590,891,149 |
| 有形固定資産 | 41,069,290,512 | 地方債等 | 9,831,748,750 |
| 事業用資産 | 18,281,124,083 | 長期未払金 | — |
| 土地 | 3,017,566,872 | 退職手当引当金 | 1,622,531,000 |
| 立木竹 | 2,650,621,939 | 損失補償等引当金 | — |
| 建物 | 33,710,182,619 | その他 | 136,611,399 |
| 建物減価償却累計額 | △21,253,250,386 | 流動負債 | 1,644,906,495 |
| 工作物 | 246,270,955 | 1年内償還予定地方債等 | 1,434,680,387 |
| 工作物減価償却累計額 | △90,267,918 | 未払金 | 54,842,637 |
| 船舶 | 3,434,150 | 未払費用 | — |
| 船舶減価償却累計額 | △3,434,148 | 前受金 | — |
| 浮標等 | — | 前受収益 | — |
| 浮標等減価償却累計額 | — | 賞与等引当金 | 121,636,459 |
| 航空機 | — | 預り金 | 33,747,012 |
| 航空機減価償却累計額 | — | その他 | — |
| その他 | — | 負債合計 | 13,235,797,644 |
| その他減価償却累計額 | — | 【純資産の部】 | — |
| 建設仮勘定 | — | 固定資産等形成分 | 48,659,927,377 |
| インフラ資産 | 22,307,444,674 | 余剰分(不足分) | △12,852,597,336 |
| 土地 | 18,437,637 | 他団体出資等分 | — |
| 建物 | 632,701,467 | | |
| 建物減価償却累計額 | △291,205,577 | | |
| 工作物 | 51,459,908,701 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △29,518,067,554 | | |
| その他 | — | | |
| その他減価償却累計額 | — | | |
| 建設仮勘定 | 5,670,000 | | |
| 物品 | 2,338,400,996 | | |
| 物品減価償却累計額 | △1,857,679,241 | | |
| 無形固定資産 | 38,789,480 | | |
| ソフトウェア | 36,975,181 | | |
| その他 | 1,814,299 | | |
| 投資その他の資産 | 4,444,447,168 | | |
| 投資及び出資金 | 147,117,000 | | |
| 有価証券 | 51,989,000 | | |
| 出資金 | 95,128,000 | | |
| その他 | — | | |
| 投資損失引当金 | — | | |
| 長期延滞債権 | 104,007,342 | | |
| 長期貸付金 | 39,856,000 | | |
| 基金 | 3,856,561,088 | | |
| 減債基金 | 200,208,270 | | |

せたな町
全体

単体貸借対照表
(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| その他 | 3,656,352,818 | | |
| その他 | 300,000,000 | | |
| 徴収不能引当金 | △3,094,262 | | |
| 流動資産 | 3,490,600,525 | | |
| 現金預金 | 1,097,031,934 | | |
| 未収金 | 171,307,486 | | |
| 短期貸付金 | — | | |
| 基金 | 1,948,492,499 | | |
| 財政調整基金 | 1,948,492,499 | | |
| 減債基金 | — | | |
| 棚卸資産 | 36,520,658 | | |
| その他 | 237,274,561 | | |
| 徴収不能引当金 | △26,613 | | |
| 繰延資産 | — | 純資産合計 | 35,807,330,041 |
| 資産合計 | 49,043,127,685 | 負債及び純資産合計 | 49,043,127,685 |

せたな町
全体

単体行政コスト計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|----------------|
| 経常費用 | 12,909,001,984 |
| 業務費用 | 8,077,968,811 |
| 人件費 | 2,108,630,486 |
| 職員給与費 | 1,545,096,475 |
| 賞与等引当金繰入額 | 120,028,741 |
| 退職手当引当金繰入額 | — |
| その他 | 443,505,270 |
| 物件費等 | 5,787,060,185 |
| 物件費 | 2,332,522,373 |
| 維持補修費 | 1,306,733,784 |
| 減価償却費 | 1,920,509,559 |
| その他 | 227,294,469 |
| その他の業務費用 | 182,278,140 |
| 支払利息 | 124,081,021 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 3,331,983 |
| その他 | 54,865,136 |
| 移転費用 | 4,831,033,173 |
| 補助金等 | 4,202,897,436 |
| 社会保障給付 | 612,935,985 |
| 他会計への繰出金 | 5,656,295 |
| その他 | 9,543,457 |
| 経常収益 | 1,513,118,247 |
| 使用料及び手数料 | 965,173,208 |
| その他 | 547,945,039 |
| 純経常行政コスト | 11,395,883,737 |
| 臨時損失 | 35,091,703 |
| 災害復旧事業費 | — |
| 資産除売却損 | 33,314,139 |
| 投資損失引当金繰入額 | — |
| 損失補償等引当金繰入額 | — |
| その他 | 1,777,564 |
| 臨時利益 | 21,159,228 |
| 資産売却益 | 20,046,204 |
| その他 | 1,113,024 |
| 純行政コスト | 11,409,816,212 |

せたな町
全体

単体純資産変動計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 合計 | 固定資産等形成分 | | |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|---------|
| | | 固定資産等形成分 | 余剰分（不足分） | 他団体出資等分 |
| 前年度末純資産残高 | 36,840,849,397 | 48,693,594,502 | △11,852,745,105 | — |
| 純行政コスト（△） | △11,409,816,212 | | △11,409,816,212 | — |
| 財源 | 10,319,963,774 | | 10,320,012,074 | — |
| 税収等 | 8,027,680,803 | | 8,027,729,103 | — |
| 国県等補助金 | 2,292,282,971 | | 2,292,282,971 | — |
| 本年度差額 | △1,089,852,438 | | △1,089,804,138 | — |
| 固定資産等の変動（内部変動） | | 528,354,655 | △528,354,655 | — |
| 有形固定資産等の増加 | | 827,946,142 | △827,946,142 | — |
| 有形固定資産等の減少 | | △525,524,236 | 525,524,236 | — |
| 貸付金・基金等の増加 | | 332,137,132 | △332,137,132 | — |
| 貸付金・基金等の減少 | | △106,204,383 | 106,204,383 | — |
| 資産評価差額 | — | — | | |
| 無償所管換等 | 4,371,300 | 4,371,300 | | |
| 他団体出資等分の増加 | — | | | — |
| 他団体出資等分の減少 | — | | | — |
| その他 | 51,961,782 | △48,300 | 51,961,782 | — |
| 本年度純資産変動額 | △1,033,519,356 | 532,677,455 | △1,566,196,811 | — |
| 本年度末純資産残高 | 35,807,330,041 | 49,226,271,957 | △13,418,941,916 | — |

せたな町
全体

単体資金収支計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|------------|----------------|
| 【業務活動収支】 | — |
| 業務支出 | 10,984,147,010 |
| 業務費用支出 | 6,153,113,837 |
| 人件費支出 | 2,106,780,812 |
| 物件費等支出 | 3,879,448,553 |
| 支払利息支出 | 123,911,968 |
| その他の支出 | 42,972,504 |
| 移転費用支出 | 4,831,033,173 |
| 補助金等支出 | 4,202,897,436 |
| 社会保障給付支出 | 612,935,985 |
| 他会計への繰出支出 | 5,656,295 |
| その他の支出 | 9,543,457 |
| 業務収入 | 11,739,938,761 |
| 税収等収入 | 8,039,512,045 |
| 国県等補助金収入 | 2,263,744,571 |
| 使用料及び手数料収入 | 964,922,548 |
| その他の収入 | 471,759,597 |
| 臨時支出 | — |
| 災害復旧事業費支出 | — |
| その他の支出 | — |
| 臨時収入 | — |
| 業務活動収支 | 755,791,751 |
| 【投資活動収支】 | — |
| 投資活動支出 | 1,405,723,175 |
| 公共施設等整備費支出 | 849,931,522 |
| 基金積立金支出 | 555,238,653 |
| 投資及び出資金支出 | — |
| 貸付金支出 | 553,000 |
| その他の支出 | — |
| 投資活動収入 | 185,925,243 |
| 国県等補助金収入 | 74,538,400 |
| 基金取崩収入 | 96,878,637 |
| 貸付金元金回収収入 | 3,014,000 |
| 資産売却収入 | 20,046,206 |
| その他の収入 | △8,552,000 |
| 投資活動収支 | △1,219,797,932 |
| 【財務活動収支】 | — |
| 財務活動支出 | 1,453,945,053 |
| 地方債等償還支出 | 1,453,945,053 |
| その他の支出 | — |
| 財務活動収入 | 1,734,643,000 |
| 地方債等発行収入 | 1,734,800,000 |
| その他の収入 | △157,000 |
| 財務活動収支 | 280,697,947 |

せたな町
全体

単体資金収支計算書

自 平成29年04月01日

至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|---------------|
| 本年度資金収支額 | △183,308,234 |
| 前年度末資金残高 | 1,228,665,923 |
| 本年度末資金残高 | 1,045,357,689 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 37,134,480 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 14,539,765 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 51,674,245 |
| 本年度末現金預金残高 | 1,097,031,934 |

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

なお、地方公営企業会計においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のないもの……………取得原価

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建 物 15年～50年

工作物 10年～50年

物 品 3年～17年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。長期延滞債権については、過去 5 年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちせたな町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

該当する取引はありません。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計方針の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 連結資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対する保証等はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものはありません。

5 追加情報

(1) 連結対象会計

| 会計名 | 区分 | 連結の方法 | 比例連結割合 |
|--------------|----------------|-------|--------|
| 病院事業会計 | 地方公営事業会計（法適用） | 全部連結 | — |
| 簡易水道事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 公共下水道事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 漁業集落排水事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 風力発電事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 営業用水道等事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 国民健康保険事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 介護保険事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 後期高齢者医療特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 介護サービス事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |

連結の方法は次のとおりです。

地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手している以下の会計については、連結対象会計の対象外としています。

簡易水道事業特別会計

営業用水道等事業特別会計（簡易水道事業特別会計に統合の上法適用の予定）

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

売却可能資産の範囲は、以下に該当するもののうち、せたな町が特定するものとする。

- ・ 現に公用もしくは公共用に供されていない公用財産（一時的に賃貸しているもの含む）
- ・ 売却が既に決定している、または、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内訳

該当する資産はありません

以上

せたな町
連結

連結貸借対照表
(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 【資産の部】 | — | 【負債の部】 | — |
| 固定資産 | 46,680,246,684 | 固定負債 | 11,687,931,431 |
| 有形固定資産 | 42,112,388,251 | 地方債等 | 9,889,000,127 |
| 事業用資産 | 19,000,200,571 | 長期未払金 | — |
| 土地 | 3,181,009,368 | 退職手当引当金 | 1,662,314,357 |
| 立木竹 | 2,651,419,138 | 損失補償等引当金 | — |
| 建物 | 35,072,908,319 | その他 | 136,616,948 |
| 建物減価償却累計額 | △22,230,045,585 | 流動負債 | 1,712,371,025 |
| 工作物 | 865,544,970 | 1年内償還予定地方債等 | 1,453,620,762 |
| 工作物減価償却累計額 | △540,635,641 | 未払金 | 73,611,321 |
| 船舶 | 3,434,150 | 未払費用 | 485,764 |
| 船舶減価償却累計額 | △3,434,148 | 前受金 | 20,000 |
| 浮標等 | — | 前受収益 | — |
| 浮標等減価償却累計額 | — | 賞与等引当金 | 148,265,205 |
| 航空機 | — | 預り金 | 36,278,699 |
| 航空機減価償却累計額 | — | その他 | 89,274 |
| その他 | — | 負債合計 | 13,400,302,457 |
| その他減価償却累計額 | — | 【純資産の部】 | — |
| 建設仮勘定 | — | 固定資産等形成分 | 49,788,079,979 |
| インフラ資産 | 22,307,444,674 | 余剰分(不足分) | △12,846,891,180 |
| 土地 | 18,437,637 | 他団体出資等分 | — |
| 建物 | 632,701,467 | | |
| 建物減価償却累計額 | △291,205,577 | | |
| 工作物 | 51,459,908,701 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △29,518,067,554 | | |
| その他 | — | | |
| その他減価償却累計額 | — | | |
| 建設仮勘定 | 5,670,000 | | |
| 物品 | 4,212,022,726 | | |
| 物品減価償却累計額 | △3,407,279,720 | | |
| 無形固定資産 | 38,913,352 | | |
| ソフトウェア | 37,074,366 | | |
| その他 | 1,838,986 | | |
| 投資その他の資産 | 4,528,945,081 | | |
| 投資及び出資金 | 87,267,809 | | |
| 有価証券 | 989,000 | | |
| 出資金 | 86,262,402 | | |
| その他 | 16,407 | | |
| 投資損失引当金 | — | | |
| 長期延滞債権 | 104,311,979 | | |
| 長期貸付金 | 39,856,000 | | |
| 基金 | 3,888,923,964 | | |
| 減債基金 | 200,208,270 | | |

せたな町
連結

連結貸借対照表

(平成30年03月31日 現在)

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| その他 | 3,688,715,694 | | |
| その他 | 411,695,470 | | |
| 徴収不能引当金 | △3,110,140 | | |
| 流動資産 | 3,661,244,572 | | |
| 現金預金 | 1,240,785,960 | | |
| 未収金 | 189,850,427 | | |
| 短期貸付金 | — | | |
| 基金 | 1,948,925,577 | | |
| 財政調整基金 | 1,948,925,577 | | |
| 減債基金 | — | | |
| 棚卸資産 | 42,189,622 | | |
| その他 | 239,635,748 | | |
| 徴収不能引当金 | △142,762 | | |
| 繰延資産 | — | 純資産合計 | 36,941,188,799 |
| 資産合計 | 50,341,491,256 | 負債及び純資産合計 | 50,341,491,256 |

せたな町
連結

連結行政コスト計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|----------------|
| 経常費用 | 15,148,645,529 |
| 業務費用 | 9,107,218,093 |
| 人件費 | 2,593,792,461 |
| 職員給与費 | 1,991,763,702 |
| 賞与等引当金繰入額 | 146,657,487 |
| 退職手当引当金繰入額 | 591,891 |
| その他 | 454,779,381 |
| 物件費等 | 6,299,480,211 |
| 物件費 | 2,651,728,381 |
| 維持補修費 | 1,382,562,425 |
| 減価償却費 | 2,037,894,936 |
| その他 | 227,294,469 |
| その他の業務費用 | 213,945,421 |
| 支払利息 | 125,143,492 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 3,342,517 |
| その他 | 85,459,412 |
| 移転費用 | 6,041,427,436 |
| 補助金等 | 5,411,332,571 |
| 社会保障給付 | 612,935,985 |
| 他会計への繰出金 | 5,656,295 |
| その他 | 11,502,585 |
| 経常収益 | 1,731,794,268 |
| 使用料及び手数料 | 1,000,535,164 |
| その他 | 731,259,104 |
| 純経常行政コスト | 13,416,851,261 |
| 臨時損失 | 35,093,136 |
| 災害復旧事業費 | — |
| 資産除売却損 | 33,314,142 |
| 投資損失引当金繰入額 | — |
| 損失補償等引当金繰入額 | — |
| その他 | 1,778,994 |
| 臨時利益 | 23,128,327 |
| 資産売却益 | 20,131,114 |
| その他 | 2,997,213 |
| 純行政コスト | 13,428,816,070 |

せたな町
連結

連結純資産変動計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 合計 | 固定資産等形成分 | | |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|---------|
| | | 固定資産等形成分 | 余剰分（不足分） | 他団体出資等分 |
| 前年度末純資産残高 | 38,060,989,174 | 49,974,899,231 | △11,913,910,057 | — |
| 純行政コスト（△） | △13,428,816,070 | | △13,428,816,070 | — |
| 財源 | 12,287,174,516 | | 12,287,222,816 | — |
| 税収等 | 9,125,365,216 | | 9,125,413,516 | — |
| 国県等補助金 | 3,161,809,300 | | 3,161,809,300 | — |
| 本年度差額 | △1,141,641,554 | | △1,141,593,254 | — |
| 固定資産等の変動（内部変動） | | 474,626,793 | △474,626,793 | — |
| 有形固定資産等の増加 | | 882,416,816 | △882,416,816 | — |
| 有形固定資産等の減少 | | △642,909,616 | 642,909,616 | — |
| 貸付金・基金等の増加 | | 362,577,315 | △362,577,315 | — |
| 貸付金・基金等の減少 | | △127,457,720 | 127,457,720 | — |
| 資産評価差額 | — | — | | |
| 無償所管換等 | 6,046,762 | 6,046,762 | | |
| 他団体出資等分の増加 | — | | | — |
| 他団体出資等分の減少 | — | | | — |
| その他 | 15,794,417 | △37,501,967 | 53,248,084 | |
| 本年度純資産変動額 | △1,119,800,375 | 442,009,596 | △1,561,809,971 | — |
| 本年度末純資産残高 | 36,941,188,799 | 50,416,908,827 | △13,475,720,028 | — |

せたな町
連結

連結資金収支計算書

自 平成29年04月01日
至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|------------|----------------|
| 【業務活動収支】 | — |
| 業務支出 | 10,984,147,010 |
| 業務費用支出 | 6,153,113,837 |
| 人件費支出 | 2,106,780,812 |
| 物件費等支出 | 3,879,448,553 |
| 支払利息支出 | 123,911,968 |
| その他の支出 | 42,972,504 |
| 移転費用支出 | 4,831,033,173 |
| 補助金等支出 | 4,202,897,436 |
| 社会保障給付支出 | 612,935,985 |
| 他会計への繰出支出 | 5,656,295 |
| その他の支出 | 9,543,457 |
| 業務収入 | 11,739,938,761 |
| 税収等収入 | 8,039,512,045 |
| 国県等補助金収入 | 2,263,744,571 |
| 使用料及び手数料収入 | 964,922,548 |
| その他の収入 | 471,759,597 |
| 臨時支出 | — |
| 災害復旧事業費支出 | — |
| その他の支出 | — |
| 臨時収入 | — |
| 業務活動収支 | 755,791,751 |
| 【投資活動収支】 | — |
| 投資活動支出 | 1,405,723,175 |
| 公共施設等整備費支出 | 849,931,522 |
| 基金積立金支出 | 555,238,653 |
| 投資及び出資金支出 | — |
| 貸付金支出 | 553,000 |
| その他の支出 | — |
| 投資活動収入 | 185,925,243 |
| 国県等補助金収入 | 74,538,400 |
| 基金取崩収入 | 96,878,637 |
| 貸付金元金回収収入 | 3,014,000 |
| 資産売却収入 | 20,046,206 |
| その他の収入 | △8,552,000 |
| 投資活動収支 | △1,219,797,932 |
| 【財務活動収支】 | — |
| 財務活動支出 | 1,453,945,053 |
| 地方債等償還支出 | 1,453,945,053 |
| その他の支出 | — |
| 財務活動収入 | 1,734,643,000 |
| 地方債等発行収入 | 1,734,800,000 |
| その他の収入 | △157,000 |
| 財務活動収支 | 280,697,947 |

せたな町
連結

連結資金収支計算書

自 平成29年04月01日

至 平成30年03月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|---------------|
| 本年度資金収支額 | △220,317,391 |
| 前年度末資金残高 | 1,407,896,055 |
| 本年度末資金残高 | 1,187,578,664 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 37,989,839 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 15,217,458 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 53,207,297 |
| 本年度末現金預金残高 | 1,240,785,960 |

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

なお、一部の連結対象団体（会計）においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的以外の有価証券

市場価格のないもの……………取得原価

② 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建 物 15年～50年

工作物 10年～50年

物 品 3年～17年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）においては、法人税法に規定する法定繰入率に基づく繰入限度額によっています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちせたな町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

該当する取引はありません。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計方針の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 連結資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対する保証等はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものはありません。

5 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

| 会計名 | 区分 | 連結の方法 | 比例連結割合 |
|--------------------|----------------|-------|--------|
| 病院事業会計 | 地方公営事業会計（法適用） | 全部連結 | — |
| 簡易水道事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 公共下水道事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 漁業集落排水事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 風力発電事業特別会計 | 地方公営事業会計（非法適用） | 全部連結 | — |
| 営業用水道等事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 国民健康保険事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 介護保険事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 後期高齢者医療特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 介護サービス事業特別会計 | 特別会計 | 全部連結 | — |
| 北海道市町村備荒資金組合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | — |
| 北海道後期高齢者広域連合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | 0.24% |
| 北海道市町村職員退職手当組合 | 一部事務組合・広域連合 | ※ | — |
| 北海道市町村総合事務組合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | — |
| 北海道町村議会議員公務災害補償等組合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | — |
| 北部桧山衛生センター組合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | 59.80% |
| 檜山広域行政組合 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | 32.09% |
| 渡島・檜山地方税滞納整理機構 | 一部事務組合・広域連合 | 比例連結 | 0.06% |
| (株)北檜山観光振興公社 | 第三セクター等 | 全部連結 | — |
| 北部桧山森林組合 | 第三セクター等 | 比例連結 | 49.08% |

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし、地方公営企業法の財務規定等が適用されていない地方公営企業のうち、当該規定等の適用に向けた作業に着手している以下の会計については、連結対象団体（会計）の対象外とし

て

います。

簡易水道事業特別会計

営業用水道等事業特別会計（簡易水道事業特別会計に統合の上法適用の予定）

- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。ただし、以下の一部事務組合・広域連合について平成 30 年 3 月 20 日までに統一的な基準による財務書類を入手できなかったため、連結していません。

・北海道市町村備荒資金組合

・北海道市町村総合事務組合

- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合

※北海道市町村退職手当組合については、連結財務書類の貸借対照表に当該団体の退職手当にかかる基金及び退職手当支給準備金を計上して連結したものとみなす方法により連結しています。

- ③ 第三セクターは、出資割合等が 50%を超える団体（出資割合等が 50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない会計と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものと調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

売却可能資産の範囲は、以下に該当するもののうち、せたな町が特定するものとする。

- ・現に公用もしくは公共用に供されていない公用財産（一時的に賃貸しているもの含む）
- ・売却が既に決定している、または、近い将来売却が予定されていると判断される資産

イ 内訳

該当する資産はありません

以上